

# 議会のつどひ

## 議員研修会・事務調査

1月30日、県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が開催され、31日は町議会主催の事務調査を行いました。

議員研修会は、鹿児島市町村自治会館4階ホールにおいて、県下の町村議会議員出席のもと開催され、2人の講師による講演が行われました。



地方財政審議会委員 木村陽子氏の講演

はじめに地方財政審議会委員の木村陽子氏の「どうなる地方財政 ～現状と再生の手立て～」と題しての講演が行われました。木村氏は地方財政審議会委員という役職から三位一体改革、財源移譲、交付税縮小等の流れの説明と、これからの地方団体の再生のための国の行う地方再生対策費、頑張る地方応援プログラムの概要等について説明され、「地方団体は政策提言能力を持たないといけない、世論を見方にするぐらいの説得が必要、大変な時期を明るい気持ちで乗り切ってほしい」と話されました。

熊本大学文学部総合人間学科教授の徳野貞雄氏は「人口減少時代の農山村の『ゆくえ』～担い手問題を軸にして～」と題して、過疎農山村の集落の実態調査の解析をもとに現状と対策を話され、人間が暮らしていくために農業・農村があることを再認識してほしいと話されました。

翌日の事務調査は、県議会3階第一会議室において、県の合併・分権推進室の室長及び担当者から「市町村合併全般について」の説明を受けました。

研修内容は、県内の合併状況、県の合併推進構想、法定合併協議会作業ス



県合併・分権推進室から市町村合併について説明

ケジュール、旧法・新法のもとでの合併支援プランの比較等についてでありました。

また、事務調査終了後、現地視察として、昨年9月28日にオープンした「マリンポートかごしま」を見学しました。

## 住民に最も近い議会を目指し

### 実年大学生と意見交換

1月22日社会教育講座「いきいき実年大学」に参加している60歳から80歳の講座生21名と意見交換会を実施しました。この講座は健康教室・教育講話・軽スポーツなどを通じ、個人の資

質向上や生きがいづくり・ふれあい活動などを目的に活動しています。今回の意見交換会は、講座の一環として議会に要請のあったもので、本議会も住民に開かれた議会、住民に身近な議会を目指し、正副議長、各常任委員会委員長が出席し、議会運営状況・大崎町の現状などについて活発に意見や質問が出されました。なかでも、「議員の顔が見えない・議会の県外研修・定例会開催月以外の活動はどうしているのか・議員の資質や専門性」についての質問や意見などが出され、参加された住民の意識の高さがうかがわれました。



活発な意見、質問がなされた実年大学生との意見交換会